

旧徳中  
城南高

## 同窓会々報

第 97 号

発行所: 旧徳中・城南高等学校同窓会事務局 徳島市城南町2-2-88 TEL088 (652) 0084 印刷: 株式会社サラト

## 会長挨拶

同窓会会長 酒池 由幸 (昭和50年卒)



平素は、同窓会活動に、格別のご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更され、これからは、ウィズコロナから、アフターコロナ、そしてポストコロナ新時代へと大きく移り変わっていき、過去に経験したことのない感染症との戦いの教訓を、明るい未来の創造に生

かしていく時代となります。

こうした中で、今年と同窓会活動は、リモートからリアルへと移行し、8月の総会懇親会では、「face to face」による親睦を、大いに深めていただければと考えておりますので、是非ご参加ください。

また、2025年には、城南高校創立150周年の記念すべき年を迎えます。同窓会としても、今後、同窓生や在校生との交流を促進するとともに、母校愛を育み、城南高校のさらなる発展に繋がる企画について、検討を進めて参ります。

引き続き、皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

## 校長挨拶

校長 <sup>みなみ</sup> 三井 敏之

我が母の母校である城南高校での勤務も2年目となりました。同窓会の皆様には本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

3年に及んだ新型コロナウイルス感染症との戦いも、判然としないものを残しつつではありますが、法制上の位置づけが5類相当に分類されたことで、一応の区切りとなりました。学校現場でも様々な行事がコロナ前に戻りつつあるとはいえ、コ

ロナ前の生活を取り戻すにはしばらく時間がかかりそうです。

さて、昨年度も城南高校は「文武両道」を体現してきました。進路実現においては卒業生の58%が国公立大学の現役合格を勝ち取っています。夏に開催されたインターハイでは、

女子バレーボール部をはじめ、男子ソフトボール部・男女テニス部・卓球部男女・ライフル射撃部男女・空手道部男女・少林寺拳法部男女・陸上競技部の各々が徳島県代表として出場し、女子バレーボール部と男子ソフトボール部は全国ベスト16に入りました。更に、国民体育大会においても、本校の女子生徒が、ビームライフル競技において予選から日本新記録を連発し、見事全国優勝を果たしています。

創立150周年を2年後にひかえ、県内で最も古い歴史と伝統の中で培われてきた「自主自立」の精神のもと、今後も「未来を切り拓くイノベーター(革新者)」として必要となる力の育成に取り組んで参りますので、引き続き頑張る城南高校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会の皆様のこれまでの御支援に改めて感謝を申し上げますとともに、皆様の御健康と御多幸をお祈りしております。

## 令和5年度 同窓会総会・懇親会のご案内

○日時: 令和5年8月13日(日) 午前11時~

○場所: パークウエストン 徳島市南前川町3-1-22 ☎088-624-3333 (10:30~20:30)

○会費: 昭和卒/10,000円 平成卒/6,000円 令和卒/3,000円

※卒業年元号により、金額が異なります。世代を超えて多くの同窓生の集いとなることを願い、若い世代にもご出席いただけるように、先輩方のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ご参加のご連絡は、8月7日までに下記宛てにご連絡をお願いいたします。

旧徳中・城南高等学校同窓会事務局

TEL 088-652-0084 FAX 088-656-0484 Mail jonan.dousoukai@gmail.com

※ご連絡時は、お名前(旧姓も)・卒業年・ご連絡先をお伝えください。※留守電の場合も同様をお願いいたします。

コロナ禍において対面での開催が叶わなかった同窓会。この伝統ある会が4年ぶりに復活する今年、幹事として携われることを光栄に思います。この4年間、当たり前だと思っていたことが実はそうではなく、日常の当たり前に感謝することの大切さを実感しました。世の中が変化し、価値観が多様化する中でも変わらないものがあり、「高校時代の思い出」は、その変わらないもの、大切にしたいものの一つではないかと思っています。同窓生の皆様と一緒に、高校時代の思い出や近況について語り合えることを楽しみにしています。どうかこの機会に同級生、先輩、後輩をお誘い合わせの上ご参加いただきますようお願いいたします。幹事・スタッフ一同、心よりお待ち申し上げます。

令和5年度同窓会代表幹事 亀代 尚史 (平成5年卒)

## 令和5年同窓会総会幹事学年からのメッセージ (平成5年卒)

江崎 雅章

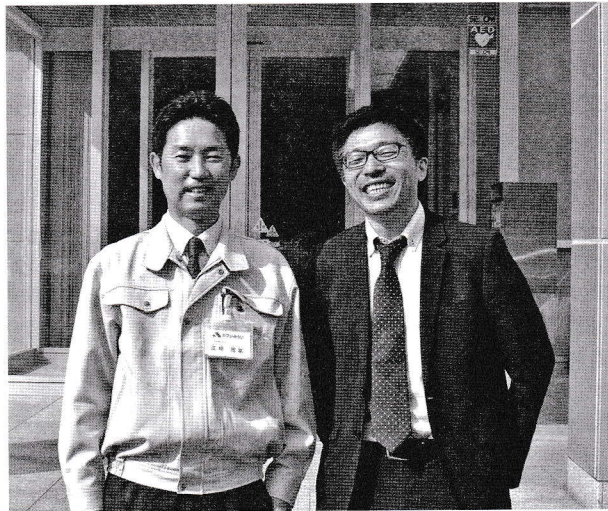
亀代 尚史

卒業してから30年が経ちましたが皆さんお元気ですか？  
当時のことを懐かしく思いながら近況を報告させていただきます。

高校時代の思い出といえば、FSでの城南健児の叫び、文化祭で大盛り上がりだった亀レース、友達と何気なく過ごした休み時間。部活では、バレーボール部の仲間と和気藹々としながらも「目指せ春高」「打倒徳商」でチームが一つにまとまり、最後の四国総体で3位になれたこと。友達と過ごした3年間、楽しい思い出ばかりで、一生の友達が沢山できました。支えていただいた岡本先生、岩崎先生…ありがとうございます。

私は今、株式会社フジみらいという会社で、河川や道路などの社会インフラに関わる仕事をしています。吉野川や那賀川、県南に延びる高速道路などの事業が円滑に進むための技術支援をしています。4年前には父の後を継ぎ、経営者の立場で日々奮闘しています。まだまだ未熟ですが、城南で学んだ「仲間の大切さ」「同じ目標に向かうチームワーク」「情熱」を大切に、バレーボール部のモットーである「人生努力」を胸に刻み、一歩ずつ歩いていこうと思います。

コロナもようやく収まってきましたが、まずは何より健康第一でいきましょう。そして、また集まって昔話を花を咲かせたいですね。



城南高校OBのみなさんのお役にも立てていれば幸いです。

ちなみにタウン誌では、徳島の高校生にクローズアップしたコーナーを作っています。城南高校生も取材することがあり、編集部が取材した情報を見るたびに懐かしさを感じています。みなさんのお子さんを取材することもあるかと思しますので、そのときはよろしくお願いします！

## 30年後のスイミー

三村 美寿穂 (旧姓：阿部)



「私ほど、自意識過剰な奴はいないと思う。」

こんな一文で始まる文章を、校誌「渦の音」に書きました。高2のときです。今読み返すと思春期特有の焦燥と自尊心が垣間見え、ちょっと中2病の後遺症を患っているような内容ですが、当時は大真面目に自分探しをしていました。

「入学当時、私の名前と『性格悪い』って言葉を同時に聞かなかった人って少ないと思うわ、多分。」だそうで、仲の良い友達はたくさんいましたが、自意識過剰オンナだったので同じぐらいの数かそれ以上、嫌われていたと思います。

「でも噂は気にしない。100万人の中で自分だけ見つけてもらう方法、知っとる？ 99万9,999人が赤い服着てる中で、1人だけ黒い服を着るコト。良くも悪くも極端に走るコト、

目立つコト。そういうコトが平気のできる、エネルギーとパワー。結局みんな、私を意識してんでしょ、と開き直れる精神力。私はいつも、スイミーになれる勇気をかき集めている。」強く、唯一無二でありたいと願っていた17歳のスイミー。あれから30年を経て、スイミーは協調性を大切にする大人になりました。真っ黒でいたいなんて思いません。赤に近い黒でいいかな。

友情と恋愛がすべてだった城南高校生活。現役生の皆さん、今年17歳になる一人娘にも、輝く青春がありますように。

そして同窓生の皆さん！全力で朱夏を楽しみましょうね！！



## 「海」

長瀬 慎一郎

私は現在高校教員をしています。幸運なことに母校城南高校では8年間勤務することができました。私の教員人生の中で一生忘れることのない時間を過ごすことができました。また、その中で一生追いついていきたい目標ができました。それは「海」のような人でありたいということです。そのことについて書きますので少しお付き合いください。なぜ「海」なのか理由は大きく分けて二つあります。

一つ目は、海はなんと言っても広く、少々のことではびくともしない強さを持っています。これを人間に置き換えるとどうなるでしょうか？私はこのように考えています。他人の言動に惑わされることなく、自分の意志をしっかりと、貫き通せる人間です。書いてしまえば簡単なことなのですが、実際行動に移すととなると、大変困難で思い通りにはいきません。

二つ目は、海はどんな川の水も受け入れているところです。(当たり前ですが…)海はどんなに綺麗な川の水もどんなに汚れた川の水も受け入れ浄化しています。これを人間に置き換えるとどうなるのでしょうか？私はこのように考えています。人間には人の好き嫌いがありますが、それとは関係なくどのような人でも受け入れ、様々な意見を取り入れることができ、よりよい人間関係を築くことができる人間です。

上記のような理由から、「海」のようにありたいと思っています。「海」に少しでも近づくことができれば、自分を活かしながら、かつ、どのような環境に置かれている人たちとも共存することができるのではないかと思います。

目指せ「海」！

## 旧職員エッセイ

## 「憧れ」から「目標」へ

元城南高校教諭—現徳島県教育委員会事務局教育政策課 山本 尚志



「憧れるのをやめましょう。」

これはWBC決勝戦前の声出しで、大谷翔平選手が発した言葉です。私は「はっ」と、背筋が伸びる感覚を覚えました。この決勝戦で日本が勝利を収めた直後、城南高校同窓会事務局の船越様より原稿の依頼をいただきました。

思い返せば、城南高校生としての3年間、部活動や学校行事、多少の勉強に自由に励んだこと、そして何より多くの仲間や恩師と出会えたことは、間違いなく今の自分を支えています。「母校、城南高校で教鞭を執りたい」という当時の「憧れ」は10年前に現実のものとなりました。そのときの高揚感は今でも忘れられません。一方、「憧れ」が「現実」となり、何かを失ったような自分がそこにいました。城南高校の「自主自立」という校風のもと、歴史や伝統に根付く、目には見えない重厚な空気感。自分を守るかのように、鎧を纏い、思うように動けない自分がそこにはいました。

「これから、あなたが城南の顔になりなさい。」立ち止まっていた私を救った、同じ城南高校を母校とする先輩教師からの言葉です。「城南高校に来たことで満足してない？これからの城南高校がどうあるべきか、そこで学ぶ生徒にはどう育てほしいか、目標をもってやりなさい。」という意味でなかったかと今では思います。

さて、大谷選手の言葉を聞いて、改めて「憧れ」と「目標」の違いについて考えてみました。「憧れ」と「目標」は似ていますが、異なる意味を持つ言葉です。「憧れ」とは、対象や状況に対する感情。何か強く感銘を受けたり、自分自身もそのような姿勢を持ったり、生き方をしたいと思うことです。一方、「目標」とは、自分が達成したいと思っている具

体的な目的や成果を示すもの。目標は、自分の意志によって設定され、具体的な計画や努力によって達成することができます。つまり、当時の私にとって「憧れ＝城南高校」は、自分自身の理想や価値観を持つ上での目印や方向性を示したものの、「目標＝？」すなわち、具体的な目標を設定して、その目標を達成するための努力ができていなかったのだと気づきました。

「人生、日々勉強、日々成長。」私が大切にしている言葉です。新型コロナウイルスという脅威に社会が翻弄される中で生まれた、城南高校のスクール・ミッション「未来を切り拓くイノベーター（革新者）を育む」という「目標」があります。急速に変化し、予測が困難な時代だからこそ、誰一人取り残すことのない「令和の城南型学校教育」を構築する中で、多様性を認め合い、議論すること。今ある環境に感謝し、アップデートし続けること。これこそが、これまで城南高校を作り上げてきた多くの同窓生の思いを受け継ぐことです。城南高校で学ぶ若者が、新たな歴史を築くイノベーターとして、答えを導き出すことを期待しています。

最後になりますが、学校、保護者や同窓会の皆様がともに知恵を出し合い、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」が望まれています。同窓会の皆様は、生徒たちにとって「憧れ」の存在です。創立150周年という大きな節目を契機とし、皆様がこれまで得てきた知識や経験、これからの将来像など語ってくださり、「目標」となってくだされれば幸いです。未知への世界を切り開く人材となるための武器を城南高校に与えていきましょう。

大谷選手の言葉はこう続けられました。「憧れてしまっただけでは超えられないので、僕らは今日超えるために、トップになるために来たので。さあ、行こう！」

## 卒業生からのエッセイ

## Ejo! Rwanda

JICA海外協力隊 西角 祐香 (平成22年卒)

Muraho! (キニアルワンダ語: 初めまして。お久しぶりです。)

平成21年度卒業生の西角祐香と申します。昨年8月から、JICA海外協力隊として、ルワンダ共和国に派遣されています。コロナ禍で外出や旅行を控えておられた同窓生の皆様をアフリカ小旅行にお連れするつもりで、執筆しました。

## Rwanda is a country of ...

- アフリカ大陸の中央・赤道近くに位置する「涼しい」国！  
平均標高1,500m、年間を通じて20～25℃。空気は乾燥していて、気温が30℃を上回ることはめったにない、大変過ごしやすい気候です。(徳島の夏の方が暑い!)
- アフリカNo. 2の人口密度  
26,300km<sup>2</sup>の国土に、1,320万人が住んでいます(注1)。(四国と比べると、約1.4倍の面積に、約4倍の人口が暮らす計算になります。)
- 豊かな自然  
国土面積の8.9%(注2)は国立公園で、野生のマウンテンゴリラに会える数少ない国です。「アフリカ=サハラ砂漠」のイメージがありましたが、衛星写真で見るとサハラ以南は緑が広がる豊かな大地です。国民の約7割が農家(注1)で、学校の先生も「家に帰れば、僕は農家」と言います。主な農作物は、バナナ、キャッサバ芋、豆類、ジャガイモ、サツマイモ、トウモロコシ、米です。コーヒーや茶葉は、主要輸出品となっています。
- 赤を使わなくなった国旗  
1994年4月～7月のルワンダ大虐殺で、80～100万人が死亡、約200万人が難民化したと言われています。虐殺という特性上、一家全滅しているケースも少なくなく、「当時何が起こったのか」、「誰が亡くなったのか」正確なことは未だにわかりません。「当時の記憶や血を連想させる」などの理由から、2001年に改定された国旗には、青(青空と希望)、緑(豊かな農業と繁栄)、黄色(平和と協調)が使われています。国旗を体現するように、現在世界で最も安全な国第6位(日本は3位)にランクインしています(注3)。
- 公用語から見える歴史と未来  
公用語は4つあり、すべて中高等学校の必修科目です。①キニアルワンダ語は、多部族・多民族国家が主流のサブサハラアフリカでは珍しく、国民のほとんどが話すことができます。②フランス語は、ベルギーによる植民地支配を受けていた時代から使われています。③英語は、2008年から教育言語に制定されました。翌年、英連邦に加盟しています。④スワヒリ語は、東アフリカで広く使われており、東アフリカ共同体の一員であるという意思が感じられます。

○先進的な一面も! 発展「途上」とは?

ルワンダは、国民1人当たりの総所得(GNI)が820米ドル(注4)の後発開発途上国(開発途上国の中でも特に開発の遅れた国)のひとつです。冷蔵庫がないお肉屋さん、ビーチサンダルの建設作業員(写真①)、青ペン一本で登校する生徒は珍しくありません。



写真①

一方で、先進的な取り組みも見られます。例えば、日本では2022年7月から始まったレジ袋の有料化。ルワンダでは海外からの持ち込みも含め、2008年から使用が禁止されています。インターネット普及率は98.7%(注1)を超え、街灯がない村でもネットが使えます。電子マネーも普及しており、水道・電気・携帯電話などの料金を支払うことができます。首都を走る市内バスは、ルワンダ版ICOCA「Tap&Go」で支払います。

国会議員に占める女性の割合は世界一の61%(注5)、ドローンによる輸血液輸送など、日本も学べる点があると思います。日進月歩の「途上」国です。

## Why I came here

応用数理科2期生として、在学中は課題研究・高大連携・NASA研修など、貴重な経験をさせていただきました。特に好きだった科目は科学英語で、大学の卒業論文のテーマに選んだほどです。講師に、鳴門教育大学の近森憲助教授(JICA専門家としてアフガニスタンの理科教育の改善にも従事)をお迎えした時に「ペットボトルでろ過装置が作れる。これで泥水をきれいにできる。」と教えていただきました。『私は新制服を着て、物化生地の実験室がそろった新校舎で学んでいる。アフガニスタンで生まれた同い年の子は「捨てるようなもの」で、安全な水を手に入れる方法を学んでいる。生きるために、理科の勉強をしているんだ。』と衝撃を受けました。育った環境は変えられずとも、「恵まれた環境で育った自分だからこそできること」をやってみたいと思い、JICA海外協力隊に参加することにしました。今回「ルワンダにいるからこそ語れること」を紹介する機会をいただき、大変うれしく

思います。

## Aim

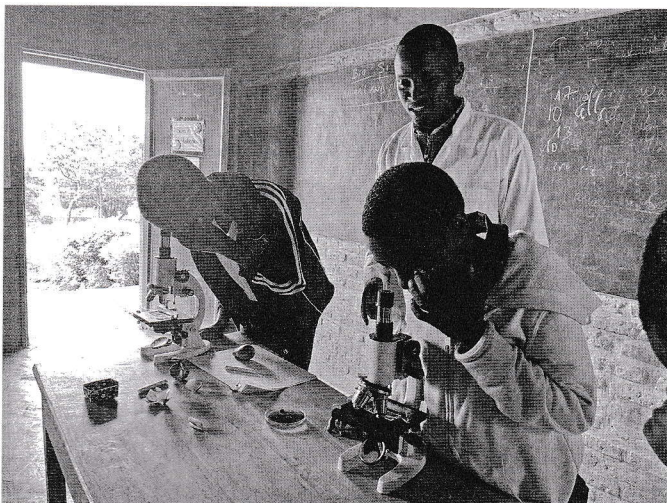
2023年4月28日現在、この国では45名の隊員が、主に農業開発、社会サービスの向上、成長と雇用創出を支える人材育成の3分野で活動しています。

私は人材育成分野、実験・観察を取り入れた理科授業の支援・推進に従事しています。寄宿生と自宅生合わせて184名が通う私立中高等学校で、12名の先生と一緒に教えています。

空き教室を理科室として整備し、実験器具や薬品の整頓・管理、安全に実験するための規則づくりから始めました。中学1～3年生の物理・生物・化学実験のアドバイザーをしています。ぶっつけ本番で授業をしていた先生が、予備実験をしてから授業に臨むようになりました。「理論だけじゃなく、本物を見せてあげたい」と話す先生、「わかった！おもしろい！」「こうやったらどうなるの？」とワクワクする生徒の顔を見ることが、日々の楽しみです。

教科書も実験器具も、一人ひとつはありません。3台しかない顕微鏡を35人で効率よく使う授業計画を立てること(写真②)や、拡大した図や教具をつくることも仕事の一つです。

日本の学校と生徒同士の交流も行っています(写真③)。派遣前に徳島市からいただいた激励金で購入したHDMIコードや阿波踊りのハッピが、この時に大変役立ちました。



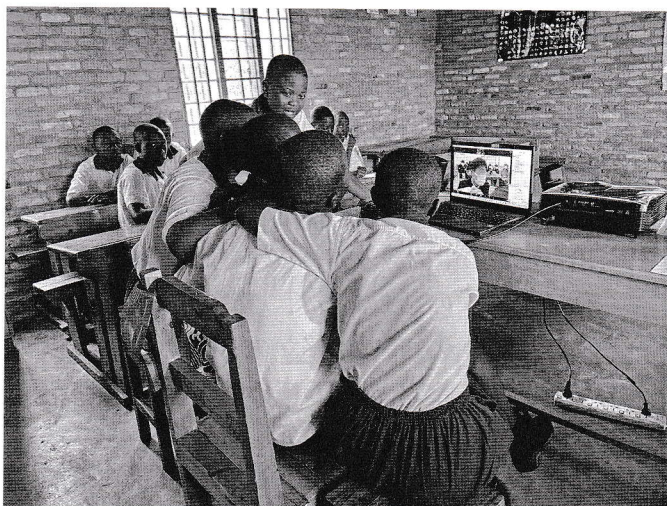
写真②

## Diversity

学校にはウガンダ人やブルンディ人、難民キャンプ出身の先生がいます。首都よりタンザニア国境に近いこの町では、家族が外国で働いている人が多くいます。でもアジア人を見かけることは珍しく、道を歩けば「Umuzungu(肌の色が白い人)」と呼ばれます。

「肌の色で差別されているのかな」と思っていたのですが、同僚に聞けば「みんな自分の肌の色が好きだから、あなたのこともそう呼ぶのよ」と言われました。「僕は父に似て色黒、弟は母に似て色白」など、肌の色の話題がタブー視されないのは不思議な感覚です。

ある日、「よく知っているね！」と女生徒をほめると、「Because we are BLACKS!」と胸を張って返されました。びっくりしました。日本で触れるニュースは、Black Lives MatterやSDGsなど、Blacksの課題や負の側面が多いので、知らず知らず負の固定観念をもっていたようです。自分の人種を誇りに思えるっていいな、と生徒から学んだ日になりました。



写真③

## Atogaki

キニアルワンダ語の中には、日本語の同音異義語のように、文脈や微妙な発音の違いで意味が異なる言葉があります。例えば、Ejoは「昨日」、「明日」、Mwiriweは「こんにちは」、「さようなら」といった感じです。

今回、このEjoと阿波弁の「ええじょ」を掛けて、タイトルにしました。お互いを知って、それぞれの未来(明日)に明るい光(ええじょ)が差しますように、と願いを込めました。2024年3月に帰国するまで、自分だからこそできることを頑張っていきたいと思います。

注1) 2022年ルワンダ国勢調査

注2) 駐日ルワンダ共和国大使館HP

注3) 日本国外務省

注4) 2019年世界銀行

注5) 2022年5月22日東京新聞

## No OO, No life!!

みなさんなら、OOの中に何を入れますか？私が暮らす、首都から100km離れた東部県ンゴマ郡の暮らしを紹介します。週の半分は断水、家にある蛇口は「水が出るときにタンクに貯水するため」に使っています。日が暮れた後、計画停電するのは日常茶飯事。水なし・電気なしでは洗濯機は使えず、天気の良い日に1時間ほどかけて手洗いしています。鶏は売っていても、鶏肉は売っていません。捌けるようになりました。日本のライフラインやサービスがどれほど充実していたかを肌で感じています。

## 伯父 新居格を語る

岡山大学名誉教授 新居 志郎

20年程前、瀬戸内寂聴さんは源氏物語の解説などで時めいておられた。この高名な才媛の阿波女に一度お目にかかりお話をしてみたく望んでいた。この私の希望は、彼女が私の母校鳴門高校の創立百周年記念式典の折の特別講演演者となられたことで実現可能な状況が生じた。私は新居格の甥という自己紹介で講演後暫時の面談を関係者を通じて申し出た所、彼女の快諾を得ることができた。

寂聴さんは私に会うなりまくしたてるように喋った。「私は新居さんにお目にかかってないんですけどねえ、恐妻という言葉は新居さんが作ったんですよ。私は大宅壮一さんから直接聞いたんです。あれは新居さんが作ったのを僕が流行らしたんだって言ってました」。これは2004年11月にお聞きした話である。恐妻は、モガ、モボと同様に新居格（以下格）の新造語とか流行語に関連した話である。

この後、全く同じ話とその数年前に寂聴さんが出した本の中に載っているのを認めた。その箇所には更に次の話もあった。格が非常におませであったという。それは格が徳中の頃にすでに結婚し子供も出来ていたからである。また、校庭で格が野球をしていたとき、赤ん坊をおんぶした奥さんが、「父ちゃん、しっかり」と応援していたのを伝え聞いたと述べている。（瀬戸内寂聴ほか『生きた書いた愛した』新潮文庫）

一昨年、新居格文学特別展が県立文学書道館で催されたが、そこに展示されていた天羽英二（以下英二）の弔辞のなかにも徳中時代の格について次の記述があった。「僕等が寄宿舎で賄征伐をやったりしている間に、君は既に良き夫となり良き父となって堂々たる一家を成していた」。このように格の早婚はかなり有名であったらしい。

ところで英二の弔辞は、簡潔ながらも格の生涯にわたる動向に触れており、また格と英二の係わり、更に格に関する折々の所感を述べている。以下の記述は、この弔事に目を通したあとで浮かんできた格を巡る私の断想である。

一つの思い出がある。遠い昔のある夏の日、当

時小学生の私が水泳に出かけようとするのを見かけた開業医の父（厚）がつぶやいた。「お父さんも若い時、岡崎の海岸で天羽のイーさんらと一緒によう泳いだ」。この言葉から次の情景が思い浮かぶ。陽光を浴びてまぶしい白砂の海岸から、三人の少年が次々に海に飛び込んで水しぶきを上げながら沖へと泳ぐ。はるか彼方に淡路島を望む。少年は格、英二、厚である。

彼等はいずれも撫養小学校から徳中に進む。特に英二と格は同級生であった。格は幼い頃から他の友達よりも大きく、何時も泰然としていたので西郷さんと呼ばれていた。

徳中時代の格は、英二の弔辞の文章そのままの次のおりである。

「西郷さんは徳中に入るや自由主義者片山先生の門に走り、また鈴木校長と肝胆相照して侃々諤々の論陣を張り一校を風靡した」。

格は徳中の弁論大会で教師の悪口をさんざん喋って停学処分を受けたが、この文章はその事件を連想させるに充分である。

徳中卒業後、格と英二はかなり異なった道を歩んだ。格は東京帝大を卒業後、杉並区長職務の一年を除いて始終在野の人として、また自由人として過ごした。他方、英二は官に就くことになった。

道は異なったものの両人は生涯を通じて互いの歩みを凝視しまた見守り続けた。そして相互の交流は決して途絶えることはなかった。

格は関東大震災後の政情不安の頃、東京朝日新聞から突如「明日より出社に及ばず」の首切り通告を受け、以来昭和初期まで経済的に苦しい時期が続いた。また、アナキストとの交流があったことから警視庁と軍部から監視され続けた。しかし格の憎めない明るい性格と包容力は人を引きつけてやまなかった。

戦火が激しさを増したとき、格は伊豆長岡の宗光寺に居を移した。これは当時の政府高官（内閣情報局総裁）を務めていた英二の配慮によるものであったとのことである。

ところが終戦に伴って、国における二人の位置は激変した。終始自由主義、平和主義、人道主

義を堅持していた格は、戦後直ちに表に出て活動し始めた。対照的に、戦時政府高官を務めた英二はA級戦犯容疑で巣鴨に一時収監されることになった。

英二が巣鴨に向かう朝、格が英二の下に駆け付けた。そして不在中も色々心配してくれたと英二は弔辞で述べている。初めて私はこの事実を知った。美しい毛筆の跡の行間からにじみ出る英二の思いと、二人の友情の深さを感じて私の胸は熱くなった。

格が二度目の脳出血で意識不明となったとき、英二と格の従兄弟の賀川豊彦が格の枕頭に馳せ参じた。居合わせた三人はいずれも徳中出身者であった。

豊彦はその後ノーベル平和賞候補に度々推挙された。国のため社会のために多大の貢献をしたこの三人が、同一中学の同一世代の仲間であったことは誠に稀有のことと思われる。翻って彼等が育った当時の徳中の教育力の高さと包容力の大きさを思うのである。

輝かしいまた誇らしい歴史と伝統を持つ城南高校が未来に向け益々発展することをお祈り申し上げて文を了える。



#### 新居 志郎氏：

新居格氏の甥。1932年、鳴門市撫養町生まれ。鳴門高校から大阪大学医学部、同大学大学院修了。医学博士。専攻はウイルス学。岡山大学及び新見公立大学名誉教授。瑞宝中綬章、岡山県文化賞などを受賞。

## 謝辞

再度の寄稿をご容認下さったことについて、同窓会ご関係の方々のご高配に深謝します。

また新居格の資料の利用について保管者の元田進氏並びにご協力下さった徳島県立文学書道館の計盛達也氏に御礼申し上げます。

(注) 新居 格氏(明治40年卒業)：

文筆家・評論家、「モボ」「モガ」等の新語を作る、杉並区の初代公選区長、生活協同組合運動を手がけ住民運動のさきがけとなる。

訳書に、パールバックの「大地」、スタインベック「怒りの葡萄」など。

天羽 英二氏(明治39年卒業)：

外交官、大戦時に駐イタリア大使を務めた後、外務次官、情報局総裁を務める。

『天羽英二日記・資料集』は外交・情報戦略の第一級資料とされる。

賀川 豊彦氏(明治38年卒業)：

社会事業家、平和活動家、キリスト教伝道者。生活協同組合運動に多大な役割を担う。ノーベル賞候補になる。鳴門、東京、神戸に記念館がある。

新居 厚氏(明治42年卒業)：

執筆者新居志郎氏の父、新居格氏の弟。医師。

新居 格氏：

1888年、板野郡撫養町斎田(現鳴門市)生まれ。徳島中学(現徳島県立城南高等学校)、七高を経て、東京帝大を卒業後、読売、大阪毎日、東京朝日の各新聞社で活躍。退社後、数多くの雑誌に執筆し、著作も相次いで刊行。「左傾」「モボ」「モガ」などの造語を生み出す。1920年代半ばからはアナキズム陣営の先頭に立って評論活動を行う。協同組合運動(生活協同組合で知られる賀川豊彦は従兄弟)にも関与、またパール・バックの『大地』等を翻訳するなど幅広い活動を見せた。戦後すぐ東京都西部生活協同組合連合会の会長に就任したほか、47年には日本一の文化村を目指して杉並区長に立候補し当選。しかし健康がすぐれず、区議会や行政にも失望してわずか1年で辞任。51年に脳溢血のため63歳で永眠。(『杉並区長日記地方自治の先駆者・新居格』(虹霓社)より抜粋)

## 城南高校昭和45年卒業50周年記念同窓会開催について

代表幹事 中谷 好行

城南高校同窓の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

我々昭和45年卒業生は、去る令和5年3月11日(土)に卒業50周年記念の同窓会をホテルクレメント徳島において、開催致しました。

またそのプレイベントとして、当日の朝サンピアゴルフクラブで、記念ゴルフコンペを5組18名で行いました。

同窓会は、恩師 大西 正、東條行裕、北條種一の御三方が出席くださいました。生徒は100名(男性85、女性15)が出席、当時の10クラス、486名の同窓の内、2割強の出席率は、50年を超えての集まりとして素晴らしい結果ではないでしょうか。「今回が最後になるかも。歩けるうちに集まりませんか?」との呼びかけがきいたのかもしれませんが。

さて、卒業50周年とは計算が合いません。2020年(令和2年)の3月に開催予定でしたがコロナ蔓延のため、直前に延期せざるを得なかったのです。3年前「50周年事業」として、母校に「50万円を寄付しよう!」と募金を集めておりました。寄付金だけは、2020年8月に校長先生に直接お渡しできたことは同窓会報95号に掲載されたところです。

開催準備としては、4年前に4回、昨年から今年にかけて4回(今年は絶対開催しようとの意気込みでした)、都合8回、各クラス代表17名が集まり世話人会を開催、中には奈良から毎回駆けつけてくれた人(Fさん)もいました。同窓生への連絡は往復はがきが普通と思いますが、経費節約の意味もあり、Facebookやメール、ラインを使ったことも今回の特徴かと思えます。割とスムーズに行われましたが、クラス代表の中には、全員に電話、メール、ハガキ等々で連絡をしてくれた方もおられました。何しろ70歳を過ぎるとメールを見たか?と電話をせんといかん方も多かったようです。またこれを機会に、それぞれのグループラインでつながったクラスもありました。

人数さえ集まれば、式次第も必要なく、出席者にまかせておけば、進んでいくものです。何しろ50年以上ぶりに顔を合わせた人も多かったようですし、皆さんどちらが恩師かわからないくらいの変貌ぶりでした。男性が壇上で話しても誰も聞いていなかったのに、女性陣が壇上で近況報告をする時だけは皆さん静かに注目し聞いておりました。当時元々少なかった女性陣、各クラスのマドンナたちばかりでした。

恩師先生方(80歳半ば以上)のスピーチをお聞きし、しっかりしてお若いことに驚きました。

最後に全員で校歌斉唱。結構覚えているものですね。

今後は、毎年4月5日18時(昭和45年卒にあやかって)同窓会サロンをすることを提案しました。

駅前コティにての二次会には、直前のアナウンスにも関わらず30名の方が参加、昔話やら近況報告などで話は尽きませんでした。

これで最後にせず、また同窓会をやるよとの声が多かったことも幹事としては嬉しいことでした。名残惜しい中、又の再会を念じて散会しました。

皆さん!また元気で会いましょう!!



徳島城南45年卒50周年記念同窓会 令和5年3月11日 於JRホテルクレメント徳島

## 城南46会第9回同窓会の開催について

昭和46年卒業 鎌田 一孝

城南高校昭和46年卒業の鎌田と申します。我々の学年では、城南46会という同窓会(4代目現会長:玉置俊晃)を作っており、そのホームページとメーリングリストの管理を任されています。在校時は3年間FS実行委員を務めました。

さて、2022年10月9日(日)、JRホテルクレメント徳島にて、第9回同窓会が「卒後半世紀(50周年)及び古稀記念同窓会」と銘打ちまして、開催されました。

卒業後25年を経て第1回同窓会を開催してから、早や第9回を数えることとなりました。本来ならば2020年に第9回同窓会を開催する予定が、先般のコロナ禍で2度延期になり、今回の開催に至った次第です。

卒業生455人中(含:現在判明している物故者38名)、過去多い回で162名、少ない回で72名の出席者がありました。今回はコ



第9回城南高校46会同窓会 令和4年10月9日 於JRホテルクレメント徳島

ロナ禍のために少ないだろうと予想していましたが、その予想に反し58名もの同窓生が無理を押し出席してくださいました。実は、開催決定前の城南46会幹事会においても、新型コロナウイルスの感染拡大のため同窓会開催に対し賛否両論ありました。しかし、2021年の1年間だけで7人もの同級生が逝去されたということもあり、次にはいつ会えるかわからないのでは非開催すべきだという意見で、最終的にまとまりました。

開催決定後、案内状を配布したところ、欠席表明された同窓生が過半数を占めました。理由は予想に違わず、コロナ感染を避けるための半数、3分の1が親の介護という状況でした。我々世代の親といえば既に90歳台に達しているため、その介護において親への感染の可能性を考慮した結果、欠席するという方も10名ほどおられました。また、所在不明で返却された案内状も何通か見受けられました。我々の年代になれば、それも致し方ないという思いはしています。

当日には、2人の欠席がありましたが、飛び込みで2人の出席もあり、当初の予定通り58名で開催されました。また県内在住者28名に対して県外から30名もの出席者があったことは望外の喜びでした。また、参加者の多いクラスでは12名も出席してくれました。

当日は、検温や手指消毒、透明アクリル板による遮蔽、ビュッフェ形式ではなく個別配膳と、徹底的にコロナ対策を施した上での開催に至りました。最初は見慣れぬ雰囲気皆固くなっていましたが、会長挨拶、物故者に対する黙祷、乾杯音頭と進み、クラス写真を撮る頃から和気あいあいと会話も弾むようになりました。興が乗ってくると、あちこちで会話のグループができ、アク

リル板の遮蔽も何のその、立って会話、椅子を引き寄せての懐かしい昔話に花が咲いていました。52年前に戻って、今は亡き担任の話や欠席した友人の話をしているうちに、3時間があっという間に過ぎていきました。

次回同窓会での再会を約して散会となったのち、2次会に場を移しました。コロナ禍での同窓会だったからこそ、「一期一会」の真の意味が理解できたような気がします。

今回の同窓会においては、幹事一同、期待と不安が混交している状態で迎えました。が、同窓会終了後の幹事会では、反省点は多々あれどまずまずの成功だったという結論に至りました。その

時に、また記念誌を作ろうという話も出てきました。還暦の第7回同窓会において、還暦記念誌「華甲」を発行しました。現在、城南高校渦の音資料館に保存されています。それで、古稀記念誌も作ろうということになり、現在その作業の最中です。

過去、ほとんどの回はオリンピックの年に開催してきました。そこで、次回の第10回城南46会同窓会は、パリ・オリンピックの年である2024年に開催される予定です。しかしながら、もうこの歳になっていつお迎えが来るかわからないので、1年おき、2年おきにしようという案が幹事会でもちらほら出てきている昨今です。

## 昭和48年城南高校卒業生同窓会

幹事代表 佐野 正孝

コロナ禍の猛威も3年に及び、前回同窓生各位にお知らせした日程は一年延期を余儀なくされました。そして徐々に弱毒化しつつも感染者爆発の第7波が終焉した22年秋に至り、新年1月2日に卒業50周年記念同窓会として開催する旨皆さんに案内しました。

その後冬からコロナがまたも第8波に入ったということでしたが、パーティなどホテル会合も一般に増えつつあり、案内通り開催致しました。

最初は70数名の出席回答がありましたが、コロナの状況から前日までキャンセルが続き名簿把握者300名程度に対し、66名の参加となりました。何らかの回答を頂いたのは118名で、出欠に関わらず回答には近況を記載して頂き、それをまとめましたので楽しい読み物が出来たのではないのでしょうか。遠方から、また、50年目にして初参加の同級生もいて感慨を覚えました。

我々の学年は「渦の音」に在学生一覧記載が無い時代でしたので、前田茂校長先生(当時)のご協力で課題となっていた1・2・3年次のクラス分けを調査し資料に添付しました。

会場は恒例のJRホテルクレメント徳島金扇の間です。集合写真撮影の後、懇親会を開始しました。

式次第は、幹事挨拶～物故者への黙とうを行い、更に、城南高校生らしく、講話①「城南高校この50年間の歩み」(前田茂前校長先生)、講話②「徳島におけるコロナ禍と治療」(伊月病院院長西田善彦君)と、お勉強モードでスタートしました。皆さん熱心に聴講され、司会をしながら感心したところです。

次に乾杯ですが、その音頭を中川正樹君に依頼しました。中川君は東京農工大学副学長・教授・先端産学連携研究推進センター長などの立場において日本有数の大学発知的財産を構築し、城南高校生に対しても前々年「城南塾SSH特別講演会」の講師をして

います。城南高校が鋭意取り組んでいるSSHスーパーサイエンスハイスクールとは、「高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進する。」ということです。

そして、メインの食事・懇親会に至りました。いつもながら結構な盛り上がりを見せ、コロナ禍ではありますが、昔話や近況で各テーブル、仲良しグループ和気あいあいでした。BGMは荒井由実で我々が19～20歳の大ヒット曲集です。

最後に次期幹事の決定報告と挨拶で終宴となりました。次は2年後です。

感染予防の立場からも二次会の設定はしてなかったですが、引き続きどこかで懇親したいという皆さんが大変多く、幹事一同は困りつつも、今日開催してよかったと安堵した次第でした。(前年亡くなった3年8組長澤誠一郎君を偲びつつ)



昭和48年城南高校卒業生 同窓会

令和5年1月2日

JRホテルクレメント徳島  
A&S PHOTOGRAPHY

## 2021年城南高校卒業生同窓会

令和3年卒 増田 吏矩

先日、2021年城南高校卒業生の同窓会を開催しました。卒業してから2年が経過し、20歳になるという節目を迎えるということで開催することになりました。コロナ禍ということもありましたが、同窓会出席者の声かけの協力もあり、100名程が出席してくださいました。新型コロナウイルスの感染も収束傾向にあったため、例年に近い形での開催をすることができました。飲み物を片手に昔話や笑い声があふれる中、当時の思い出がよみがえりました。かつて一緒に過ごした時間を思い出し、懐かしさが胸に迫りました。また、久しぶりに会う仲間たちの成長や変化を感じながら、それぞれの新しい人生の歩みを知ることができ、驚きや感動がありました。

今回の同窓会では、懐かしい友人たちとの会話を楽しむことができ、当時の自分自身や仲間たちの無邪気な笑顔が蘇り、学生時代の日々が鮮明に思い出されました。また、学校の先生たちのエピソードを語り合うことで、当時の授業や学校行事の懐かしい思い出がよみがえり、当時は懐かしく振り返ることができました。同窓会という場がなければ再会しないであろう友人とも話す場

になりました。また、高校時代には話したことの無い友人との新しい出会いもあり、話題が尽きることなく、会場内は常に様々な声が飛び交っていました。

同窓会の時間はあっという間でした。再会した友人たちとのひとときを楽しむ中で、学生時代の思い出を共有し、新しい話題にも盛り上がりながら、楽しい時間が過ぎていきました。同窓会後はそれぞれが二次会に足を運ぶ様子が見られました。

同窓会に参加していただいた友人からは、「開催してくれてありがとう」や「また開催してほしい」という優しい声かけをいただき、無事に開催することができてよかったと感じています。コロナ禍での開催にあたり、感染拡大を助長してしまうのではないかと、クラスターが起こってしまうのではないかと、参加人数が少なくなってしまうのではないかと等の不安な要素が沢山ありました。それらの課題を乗り越え開催することができたことを嬉しく思います。これからも友人たちとの思い出を大切に、また次の同窓会で再会できることを楽しみにしています。

# 学校誌「渦の音」先輩寄稿

## 親愛なる後輩たちへ～よき出会いとよりよき人生のために～

徳島県警察嘱託警察犬指導員（元警視庁警察官）

綱島（旧姓内輪）久美子（昭和55年卒）

新型コロナウイルス感染症が蔓延して以来早3年が経ちますが、これまで様々な制約を受け、又、多くの犠牲を強いられながらも、皆さんは、それぞれに充実した学校生活を過ごされてきたことと思います。

この厳しい時代を城南高校で過ごした日々は、いつか必ず皆さんを支える力となり、遅しく寄り添ってくれることでしょう。

さて、私は昭和55年（1980年）城南高校を卒業し、京都で4年間の学生時代を過ごし、その後、上京して警視庁警察官になりました。



顧みますと、私の人生は最初から目的があったわけではなく、まるで何かに導かれるような偶然の出会いが折り重なることで、進むべき道を見出し、自分なりの精一杯で歩んできたと思えます。

その出会いは、誰かの言葉や、風景や、読んだ本や、聴いた音楽等の中にあり、そのどれもが、時に心を支え、励まし、鍛え、変化させ、そして背中を押して、いつも近くで応援してくれました。

多くの素敵な出会いに感謝し、これまでの人生におけるエピソードを、お伝えしたいと思います。

《大学進学に至る出会い》

<<<<<中略>>>>>

《就職に至る出会い》

<<<<<中略>>>>>

《警視庁警察官からその後の出会い》

<<<<<中略>>>>>

《再就職に至る出会い》

<<<<<中略>>>>>

《愛犬と嘱託警察犬に至る出会い》

2013年3月に主人（東京出身）の定年退職を期に徳島に戻り、いつかシェパードを飼いたいという夢を、2014年にバーバラを迎えることで実現させました。

<<<<<中略>>>>>

その時、以前女性警察官が警察犬の訓練をする姿を見て、いつか警察犬担当になりたいという夢を抱いていたことを思い出し、嘱託警察犬と指導員を目指すことを決めたのです。

県警の嘱託警察犬になるためには、年2回行われる競技会に毎年合格しなければなりません。ここからバーバラと週4日の訓練を始めることになりました。

<<<<<中略>>>>>

このような訓練を4年続けて、ようやく昨年、2022年1月に、バーバラと念願の徳島県警察嘱託警察犬（ヴァラー号）と指導員となり、様々な捜索活動で活躍できることとなりました。

<<<<<中略>>>>>

こうして5回目捜索の昨年7月の出動で、経験の浅い私たちが、行方不明となった90代の女性を生存発見することができたのです。

発見当日は猛暑の中、家族も行くことはないと言った山道を登ったのは、バーバラが道路脇の用水路を盛んに気にする様子を感じ取ったからです。

<<<<<中略>>>>>

ただ、雑草や木々が生い茂り、何も見えず、人が立ち入ることすら困難な崖下で発見できたことは、奇跡とも感じます。

もちろんバーバラが、崖下を気にしたことは確かですが、それでも、目を凝らして草木の隙間の一つひ



とつを確認したことも不思議でなりません。

しかし、こうして人の気配を感じない草木の隙間を必死に探した結果、行方不明者を発見することができたのです。

なぜこのような発見ができたのかを考えた時、実は昨年春に尊敬する「師」が、天国に旅立ったことを思いました。嘱託警察犬と指導員に合格したことをお伝えすることもできず、心残りのまま日々を過ごしていた矢先の人命救助だったのです。

この時の状況を何度思い返しても、いつも笑顔で私を応援してくれた亡き「師」が、「綱島がんばれ！バーバラこっちこっち！」と天国から導いてくれたのではないかと感じてならないのです。

目に見えないものは、見えるもの以上に、心を支えてくれるものではないでしょうか。

以前、あるお寺の説法で、仏教には、おかげさまという意味の『冥加（みようが）』という言葉があると聞きました。『冥』は、目に見えない神仏の作用で、『加』は、目に見えない支えが加わることだそうです。

今回の人命救助も、多くのおかげさまにより、導かれたのではないかと感じています。

みなさんも日常のある時、不思議だと思えることに、遭遇した経験があると思います。それは、理屈では説明できない、目に見えないおかげさまが働いた時だと思えます。そんな時は、何かに見守られているのだと、感謝の心を持ちたいものです。



#### 《後輩の皆さんへ》

今、人生100年時代と言われていますが、皆さんの人生は、正にこれからが正念場です。

これまで、私が生きてきた時代よりも、一層、複雑で難しい時代だと思えます。地球温暖化で異常気象にみまわれ、平和だと思っていた時代に、現に戦争が起きて、社会や経済に影響を受け、更には、過剰すぎる豊かさや便利さが、逆に色々なところにひずみを生じさせるなど、難題だらけの世の中です。

ただ、これから皆さん一人ひとりの力で変えていけることがたくさんあると思えます。

今の日本の政治を見ても、多くの課題がありますが、幕末の日本を描いた歴史小説やドラマを観ると、この時代の偉人たちは、私利私欲を満たすためではなく、「国のため、民のため」に命がけで行動を起こしてきたと思えます。戦後の日本の復興もしかりです。今はどうでしょう。その熱く尊い志の上に生きることが、時々恥ずかしくなります。

いずれにしても、皆さんがこれからの日本を背負う時代は、もう目前までできています。

しかし、残念なことに、若い頃は、政治や社会に興味や関心がなく、20代の投票率は、60才以上の半分と聞きます。せっかく与えられた18歳以上の選挙権を、是非、行使して、政治や社会に積極的に参画してもらいたいと思えます。

そして、ここで大切なことは、自分たちが社会の中心になった時に、どのような世の中であって欲しいのかを、今からイメージし、それを実現するために、たくさんの出会いの中で、失敗を恐れず、多くのことを学び、経験していくことです。決して、表面的なものに左右されず、学んだことを糧として、若い力で、自分たちの目指す理想の社会を築いていって欲しいと心から願っています。

これから皆さんが人生を歩む中で、嫌なことや辛いこともあるでしょうし、良いこともあるでしょう。乗り越えなければならない壁もあるでしょう。そればかりか、多くの試練が、これからいっぱい付きまどってくると思いますが、これまでお伝えしたことを一つでも参考に、前向きに取り組み、そして試練を乗り越えていっていただきたいと思えます。その先には、よりよき人生が待っているはずですよ。

結びに、皆さんへ心から熱いエールを送ると共に、私も卒業生の一人として、少しでも世の中のために役に立ちたいという想いを忘れず、愛犬バーバラと『人犬一体』、心をひとつにして、与えられた使命を果たしていきたいと思えます。城南健児に幸あれ！

ハイザ城南 ハイザ城南 リーベホッホー！

※会報紙面の都合上、数カ所中略とさせていただきます。全文は、学校誌「渦の音」第69号、またはホームページをご覧ください。



## <関東> 「渦の音クラブ」～チェンジ・アンド・チャレンジ～

「渦の音クラブ」は、城南高校同窓会の関東支部として活動しています。そして、毎年秋に、関東在住のOBの交流の場として「渦の音クラブの集い」を開催しています。

「渦の音クラブの集い」は、コロナ禍の間もオンラインで開催してきましたが、昨年度は、3年振りに10月23日（日）に、ホテルニューオータニのレストラン・ガンシップで対面開催しました。当日は、三井<sup>みなみ</sup>敏之校長先生、酒池由幸同窓会会長をはじめ約40名に参加いただきました。また、万代中央ふ頭の再開発を手掛けているアクア・チッタ理事で平成4年卒の岡部斗夢様に講演をいただき、盛況のなか終えることができました。

昨年の会は、3年振りの対面開催のため平成2～4年卒を合同幹事年として開催しました。近年、「渦の音クラブの集い」の参加人数がやや停滞気味にあり、さらにコロナの影響も残るなか、参加者の見通しが立たず、「規模縮小もやむなし」の声もでていました。そのような中、幹事年から「どうせやるなら従来通りやりたい！」との声が挙がりました。一瞬、ガランガランで板張りの床ばかりが目立つ会場の光景が脳裏によぎりましたが、その前向きな言葉を嬉しく思い、従来規模での開催に踏み切りました。

結果は、必ずしも思い通りにはなりませんでした、

「この会を盛り上げていきたい」「この会を通じていい繋がりを広げていきたい」という幹事年の思いがしっかり伝わる本当にいい会になったと思います。会場には暖かく心地のいい空気が流れているように感じられました。

「渦の音クラブ」は、すでに今年度の活動を開始しています。先日、今年度の学年幹事（平成5年卒）を交えて、今年度の打ち合わせをしましたが、今年度幹事から今年の抱負として、「チェンジ・アンド・チャレンジ！」との宣言がありました。今年も大変なことになりそうですが、「渦の音クラブ」では、毎年、このような思いをしっかり繋げ、積み上げていきたいと思っています。



## ～近畿支部（城南FS会）50周年を振り返って～

旧制徳島中学校の創立100周年記念事業の一環として昭和48年7月に創立された城南高校同窓会近畿支部（城南FS会）は、設立からちょうど今年で50周年を迎えます。

設立以来、毎年定期的に同窓生の交流会を開催し親睦を深めています。コロナ禍において、交流会開催が危ぶまれた年もありましたが、皆さんの協力のもと感染症対策を十分に行い無事開催することができました。今日まで近畿支部城南FS会が同窓生の交流の場として継続しているのは非常に素晴らしいことであると感じています。

余談ですが、城南高校同窓会近畿支部（城南FS会）創立から50周年ということで、50年前の1973年はどんな時代だったかを振り返ってみました。

全国的な出来事で調べてみると、1973年2月に為替レートがこれまでの固定相場制から変動相場制へ移行した年でした。スタートは1ドル277円だったようです。徳島県で見ると剣山が日本百名山に選ばれた年だそうです。

直近での交流会は大阪市北区にある中央電気倶楽部で昨秋10月に開催致しました。

城南高校同窓生や、徳島県にゆかりのある方、そして城南高校校長先生、シンガーソングライターの皆谷さんなど総勢50名近くの方々に参加いただきました。

最後は大阪天水連の華麗な阿波踊りを堪能したあと、参加者も加わり阿波踊りを踊る大盛況でした。

コロナ禍もようやく収束が感じられるようになってきた今日、交流会はもちろんのこと、ゴルフ大会や徳島県ゆかりの方の講演会など、楽しんでいただけるイベントを定期的に開催していければと思っています。

この会報誌を読まれた多くの皆さんに自らも一歩を踏み出していただき、楽しい同窓会の輪を広げて交流していただきたいと思います。

城南高校同窓会近畿支部は門戸を広く開けて、皆さんの参加をお待ちしています。

## おめでとうございます

令和3年 秋の叙勲 受章者

## 瑞宝中綬章

井上 直聖氏 (70) (昭和45年卒)

元国土交通省、農林水産省大臣官房審議官  
＝農林水産行政事務功勞令和4年 秋の叙勲 受章者

## 旭日小綬章

水口 和生氏 (73) (昭和42年卒)

県薬剤師会会長＝薬事功勞

## 旭日双光章

林 正敏氏 (73) (昭和43年卒)

元建築士会会長＝建設設計監理業振興功勞

坂東 光美氏 (70) (昭和46年卒)

徳島市歯科医師会副会長＝保健衛生功勞

## 瑞宝小綬章

荒尾 和史氏 (74) (昭和42年卒)

元東京航空局飛行場部長＝国土交通行政事務功勞

## 瑞宝双光章

山田 大路氏 (78) (昭和37年卒)

学校医＝学校保健功勞

笹川 泰弘氏 (63) (昭和53年卒)

元香川大学医学部付属病院放射線部  
診療放射線技師長＝保健衛生功勞

## 地域文化功勞者

川竹 道夫氏 (74) (昭和41年卒)

徳島ギター協会会長＝芸術文化功勞

令和5年 春の叙勲 受章者

## 旭日小綬章

佐藤 幸好氏 (70) (昭和46年卒)

徳島県建築士会会長＝建築設計管理業振興功勞

## 旭日双光章

有住 基彦氏 (81) (昭和36年卒)

板野郡医師会会長＝保健衛生功勞

## 瑞宝中綬章

勝浦 敏行氏 (70) (昭和46年卒)

元中国管区警察局長＝警察功勞

## 瑞宝小綬章

上野 秀樹氏 (72) (昭和45年卒)

元徳島県企画局長＝地方自治功勞

## 瑞宝双光章

高岡 猛氏 (77) (昭和39年卒)

学校医＝学校保健功勞

平田 守氏 (64) (昭和52年卒)

元徳島県立三好病院医療技術企画員＝保健衛生功勞

(年齢は受章当時)

# 「後援会活動（令和4年度実績・令和5年度計画等）について」

後援会会長 大和 史郎（昭和56年卒）



城南高校同窓生の皆さま、初めまして。昭和56年卒の大和史郎（やまとしろう）です。本年の後援会・会長副会長会議にて、酒池由幸会長よりバトンを引き継ぎました。どうぞよろしくお願いたします。

我らが母校の城南高校は、2025年に創立150周年という大きな節目を迎えますが、これまで城南高校の栄誉と伝統を築かれました同窓生の皆さま方には、そのご尽力に対しまして、改めて敬意を表する次第であります。

現在、城南高校は、文部科学省スーパー・サイエンス・ハイスクール校（SSH）の指定校として先進的な教育により創造性豊かな人材育成に取り組んでいるほか、スポーツ等の部活動においても、県内の強豪校として活躍するなど、まさに「文武両道」を実践しており、一同窓生としても誇らしく感じております。

先般、久しぶりに母校を訪れる機会がありましたが、生徒たちの爽やかな挨拶に感動し、うれしい気持ちになりました。校舎は新しくなり制服も変わりましたが、40年以上も前の在校時を思い出し共感できるのは、同じ「城南DNA」で繋がっているからでしょうか。

さて、同窓生の皆さまには、日頃より後援会活動に格別のご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。お蔭をもちまして、これまで教育の充実や部活動の下支えに、大変有意義な支援を実施することができ、心から感謝申し上げます。

後援会としては、今後とも、こうした支援活動に協賛いただける方々の輪を広げながら、後援会活動を通じて同窓会の皆さまとともに母校の発展に貢献し、その喜びを分かち合いたいと考えております。

つきましては、皆さまには後援会活動の趣旨を十分ご理解いただき、会費（寄付金）の納入について、ご協力いただけますとともに、同窓の方々へのご案内等につきましても、ご高配を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

## 令和4年度後援会活動について

### 城南高等学校後援会

旧徳中・城南高等学校同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

後援会の令和4年度支援事業として、「部活動を祝する建植看板」を寄贈することとし、令和5年5月23日に目録を贈呈しました。支援金額は77万円です。

一方、後援会への会費寄付金の納入については、個人4名の方から17万円、団体として阿波銀行、徳島県庁、徳島大正銀行、日亜化学工業の4支部から計46万5千円のご協力を頂き、合計で63万5千円のご入金を頂きました。後援会活動へのご理解、ご支援を頂き厚くお礼申し上げます。

本年度も一層のご協力をお願い申し上げます。

◇後援会ホームページURL◇  
(同窓会のホームページと共用)

<https://sites.google.com/view/jonan-ob>

◇ 会費等振込先 ◇

会費は 一口 5,000円 (何口でも可)

口座名はいずれも「城南高等学校後援会」

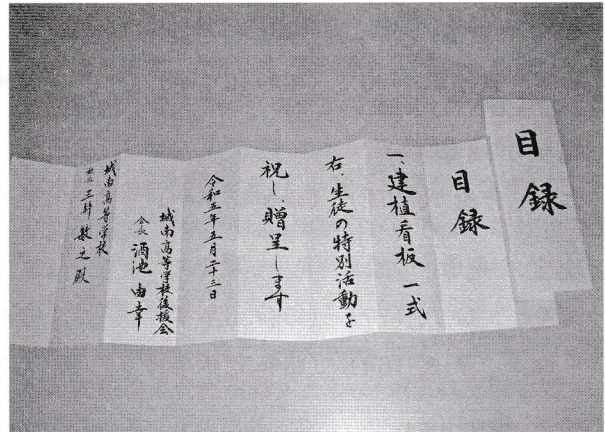
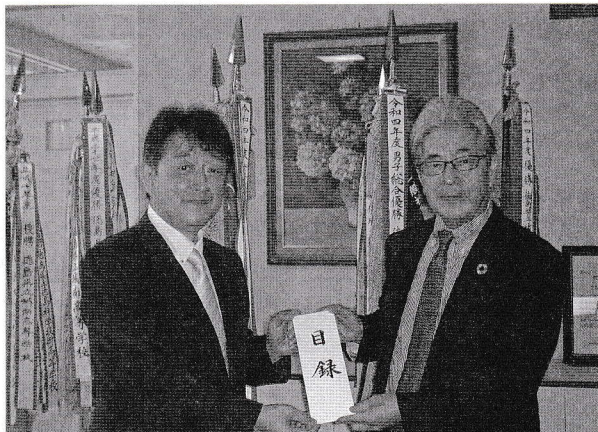
金融機関名 店番号 口座 口座番号

阿波銀行本店 100 普通 1192723

徳島大正銀行本店 001 普通 7815411

口座 記号 番号

(ゆうちょ銀行 01680・2・60805)



## 同窓会事務局長退任挨拶

どうもありがとうございました

船越 隆子 (昭和51年卒)

令和 2 年に同窓会事務局の仕事をお引き受けした直後に、新型コロナウイルスの影響で学校は突然の休校、校舎から生徒たちの姿が消える異例の光景となりました。

同窓会も、私のいた 3 年間は、総会を一度も開くことができませんでした。開催する予定だったのにその前日に急遽中止を決めた年もありました。本来ならば、たくさんの方たちと直にお会いできるのが同窓会の醍醐味のはずが、オンラインやメールという寂しい「交流」になってしまいました。

ただ、その代わりというわけではないですが、学外や遠方の方たちと、思いがけなくご縁がいくつもつながった 3 年間でもありました。

県内の百周年を迎える高校から、歴史ある城南ではどのような記念行事をしたのかと尋ねられて、140 周年時の記念品等見本をお送りしたこともありました。

また、驚くような歴史的発見も。大阪大学の先生から、湯川秀樹氏が最初に講演をしたのが城南高校なので、その記録が残っていないか調べてほしい、と。古い学校誌『渦の音』に湯川秀樹先生の講演録を見つけた時には、本当に感動いたしました。

本会報に寄稿された新居志郎先生には、伯父様にあたる新居格氏 (明治 40 年卒) について城南時代のエピソードを会報第 95 号に書いていただいたのですが、その中で同時期に在籍していた賀川豊彦氏 (明治 38 年卒) が登場したことから、偶然にその会報を目にした東京の賀川豊彦学会の方からお電話をいただき、「さすが、伝統ある城南高校の会報は読み応えのある記事ばかりですね」と褒めの言葉を頂戴し、その後もやり取りが続きしました。

城南高校は 2 年後に 150 周年を迎えます。150 年の歴史の中には、全国ひいては世界にも名の知れるような活躍をされた先輩たちがいます。先述の賀川豊彦氏、新居格氏、そして詩人の野上彰氏 (本名藤本登、大正 15 年卒) …その後現在に至るまで、挙げるときりがありません。若い卒業生の皆さんにも、昔の先達のことを



を知ってほしいし、そして現在活躍している先輩方とも、ぜひ同窓会に参加して直に触れ合っていたいただきたいと思います。

歴史が長いと言えば、同窓会会報は今回で 97 号。徳島県立文書館の嵐大二郎先生 (平成 9 年卒) から、これだけ長く続いている同窓会会報をぜひ文書館で保管をしたいというお申し出をいただいたことがきっかけで、倉庫から探し出して、創刊号からこれまでの会報全号をファイルにまとめることができました。

歴史を振り返ることは、ただ懐古することではなく、先輩たちが積み上げてくださったものをしっかり受け取って、次につなげていく土台になっていくのだと思います。

3 年間という短期間で同窓会のお役に立てたことはほとんどありませんが、こうして先輩方の成されてきたことに触れ、色々なご縁をつなぐことができたのは、私にとってもとても有難く貴重な経験となりました。

校長先生をはじめ先生や職員の皆様、同窓会会長や役員、同窓会員の皆様、いつも助けてくださった高木先生、本当にどうもありがとうございました。

## 同窓会事務局長就任挨拶

綱島 久美子 (旧姓：内輪) (昭和55年卒)

この度、船越前事務局長から引継ぎを受けました、昭和 55 年卒の綱島久美子と申します。どうぞよろしく願いいたします。

事務局は、校舎内にあり、学校のチャイムと生徒たちの元気な挨拶に接し、清々しい気持ちで勤務させていただいております。今後は、学校行事にも積極的に参加し、同窓会の存在を、未来の同窓生である在校生たちにも広めていきたいと考えております。

またホームページもリニューアル致しました。郷里を離れてお

過ごしの方にも、城南高校の今をご覧いただくために、様々な角度から発信できればと考えております。

まもなく創立 150 周年事業も立ち上がることとなります。今後とも後輩たちのために同窓会への熱いご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

余談となりますが、執筆依頼を受け 3 月に発行された学校誌『渦の音』に掲載された『先輩寄稿』をこちらの会報にも載せていただいたようです。よろしければ合わせてご覧ください。

### 『同窓会事務局からのお知らせ』



新型コロナウイルス感染症が蔓延しての 3 年間は、役員会、理事会、また総会等全ての同窓会行事は、オンラインや中止となり、同窓生としての繋がりも疎遠になってしまったのではないのでしょうか。それは同窓会だけでなく、学校の行事に関しても同じだと校長先生から伺いました。様々な行事も在校時、先輩からの教えもなく実行しなければならないということで、昨年ファイアーストームも城南卒業生の先生方から教わったとお聞きしています。この 3 年間は、伝統の継承も危ぶまれる期間になってしまったようです。

ようやく新型コロナウイルス感染症の位置づけが、5 類感染症となり、対策は継続しながらも、多くの行事が行える世の中になってきました。今年の総会は、計画時にはまだ先行き不透明なこともあり、講演の計画は行えませんでした。総会に引き続き懇親会を行う予定となっております。

会場についても例年行っておりました阿波観光ホテルが軽症・無症状者用宿泊療養施設の指定を受けていたため、現在リニューアル中で、パークウエスタンの開催となります。総会の会場設営等もいつもどおりとならず、手際のある点もあるかと存じますが、是非、久しぶりの再会の場として、多くの方にご参加いただければと考えております。世代を越えて、多くの同窓生の皆さまとお会いできることを、心より楽しみにしております。

最後になりましたが、今号のために、ご多忙の中、原稿依頼を快くお引き受けいただきました同窓生各位に、この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

## ホームページリニューアルのお知らせ

同窓会が会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与するために、親しみやすく、閲覧しやすいホームページにリニューアルいたしました。

是非、ご覧ください。

徳島を離れてお越しの皆さまにも城南高校の今もお知らせしたいと考えております。

こんなことが見たい、知りたいがあれば、ご意見をいただければ幸いです。

『徳島県立城南高等学校』のホームページにリンクされています。

**URL : <https://sites.google.com/view/jonan-ob>**



### 旧徳中・城南高校同窓会ゴルフコンペ

#### 第13回「渦の音カップ」ご案内



日 時	令和5年10月8日(日曜) AM8:32スタート	幹 事	昭59年卒 元木 和恵 090-1001-9450
場 所	サンピアゴルフクラブ	呼びかけ人	昭37年卒 森 壮太郎
費 用	プレー費 ¥13,780 (税込、食事別) 参加費 ¥3,000	お申込み	各学年幹事へ別途ご案内申し上げます

## 同窓会報は 皆さまからのご支援により支えられています

この同窓会報の発行は、普段顔を合わすことのない同窓生親睦のための会報です。

同窓生の寄稿文を読むたび、母校を懐かしみ、また卒業生であることの誇りを感じる方も多くいらっしゃる  
とお聞きしています。

まもなく100号を迎える歴史ある会報を今後も継続させるために、皆さまからのご支援を重ねてお願い申し  
上げます。

支援金は、同封の振込用紙をご利用ください。コンビニからも振り込みは可能です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 事務局の案内

同窓会などのお問い合わせは、下記の各事務局までお願いします。  
同窓会・後援会ホームページもご活用ください。

### 旧徳中・城南高等学校同窓会事務局

〒770-8064

徳島市城南町2丁目2-88 城南高校内  
網島 久美子(昭和55年卒)

☎ 088-652-0084 ☎ 088-656-0484

Mail [jonan.dousoukai@gmail.com](mailto:jonan.dousoukai@gmail.com)

HP [https://sites.google.com/](https://sites.google.com/view/jonan-ob)

[view/jonan-ob](https://sites.google.com/view/jonan-ob)

### 渦の音クラブ(関東支部)事務局

〒112-0001

東京都文京区白山4丁目24-17

三橋 浩志(昭和59年卒)

Mail [info@uzunooto.jp](mailto:info@uzunooto.jp)

HP <http://uzunooto.jp>



Facebook

日々の活動はフェイスブックでも発信中  
「渦の音クラブ」に「いいね」をよろしく

### 城南FS会(近畿支部)事務局

〒665-0845

宝塚市栄町3-1-11-903

事務取扱は下記まで

〒771-2501

徳島県三好郡東みよし町屋間573-2

糸田川 廣志(昭和42年卒)

☎ 0883-79-3270

Mail [hiro4823ito@yahoo.co.jp](mailto:hiro4823ito@yahoo.co.jp)